

# 水曜日用の原稿

これから unity 班について説明します。

私は班長代理の\*\*\*です。

それではまず、皆さん、ゲーム好きですか!!!（勢いよく）

ありがとうございます。

それではゲームを「作ってみたい」と思ったことは

ありますか???（これも勢いよく）

っと、あまりいないですね。

それもそのはず、ゲームを作ると言ったら「難しそう」

だったり、「コンセプトが思いつかない」といった不安が

あると思います。しかし、小中学校で scrach を使って

ゲームを作ったことがある人は大丈夫です。

（2枚目のスライドに移行）

次に unity 班の活動についてです。

自分たちは unity というゲーム開発ソフトを使ってゲームを

作っています。（2枚目のスライドを見せながら）これは

unity 班現班長である鈴木さんが文化祭のときに作った

作品です。まんまインベーターですが権利元に訴えないで

くださいね!!

（3枚目のスライドに移行）

続いて unity 班では基本的にどんなゲームを作っても構いません。AR や VR といったゲームでも OK です。そして VR に関してはうちの学校になんと Meta Quest3 が 5 台も置いてあるので是非使ってみてください。スライドに戻って、下の方に進捗関係の事が書いてありますが、こんなのは実際に入部してから話しますので、今はどうでもいいです。

#### （4 枚目のスライドに移行）

さて、これまで unity がーとかどうとか言っていましたが、unity ってゲームを作るソフトなのはわかったけどどんな風に作るんだよって言うと unity は基本的に C# というプログラミング言語を用いてゲームのシステムを作ります。UI やモデリングに関しては、2d であればドット絵ツールや自分で書いたモデルを unity で取り入れたり 3d であれば blender でモデルを作ったりします。

このようにしてゲームを作っていきますが、システムを作る C# は覚えるのも、使うのも難しいです。ですので、先輩たちに頼ったり ChatGPT といった生成 AI に頼っても構いません。（5 枚目のスライドに移行）

次に大会についてです。

大会は今年は 2 種類あり、1 年生は出場することが

難しいかもしれませんが、2年生はこれらの大会に向けてとあるゲームを作っています。

神ゲー創造主エボリューション。長すぎますね。神エボと読んでいきましょう。この大会はその名の通り神ゲーを作る人材を育てるためにできた大会です。

IND-1（インディーワン）。インドワンって自分たちは読んでます。これは大阪、関西万博の expo メッセ

「WASSE（わっせ）」にて開催される

「デジタル学園祭 2025」の一環として行われる大会だそうです。（6枚目のスライドに移行）

ここからは OB の古市先輩についての功績を晒していきたいと思います。この人本当に凄いんですよ。

まずは 2021 年の「BalloonHead」。これは神エボの前身である日本ゲーム大賞のアンダー 18 部門で金賞をとっていました。

続いては「BalloonHead2」。これは私も存在を知りませんでした。この作品では unity ユースクリエイターカップでシルバーアワードを受賞しています。

（7枚目のスライドに移行）

最後に「TELEPORTAL」。これは凄いですよ。何せこの作品だけで3つも賞をとっているんですからね。一つずつ

説明していきます。1つ目、unity ユースクリエイター  
カップでシルバーアワード、ゲームクリエイター甲子園の  
アンダー 18 部門で総合 2 位、神エボでなんとグランプリ  
という偉業を成し遂げているんですよね。凄いです。  
それ以外の言葉が見つからない位凄いです。

### (8枚目のスライドに移行)

最後にゲーム作りにおいて大事な事を話します。

それは「やる気」と「アイデア」です。「やる気」は  
(先ほど部長さんも話されていたと思いますが)

↑部長さんがやる気について触れたら話す

どんな行動一つにおいても絶対に必要になってくるし、  
何よりゲームを作る際は基本的に目の前のパソコンと  
にらめっこをし続けなくてはならず、その際にやる気が  
ないとすぐに youtube やスマホゲーに手を出して  
しまいます。そしてそのまま何もやらずに帰ってしまう  
可能性も考えられるので、やる気を維持し続けましょう。  
そして「アイデア」はゲームの軸となるもので、これが  
ないとゲーム作りすら始めることができませんので  
アイデアを出していきましょう。あとアイデアは日常の  
いたるところに存在するので是非、目を凝らして身の回り  
のことや物を観察してみてください。

これにて unity 班の説明を終わります。皆さん、最後まで聞いていただきありがとうございました！！！！